



東日本大震災被災地支援 第65回日本選手権競輪(GI)の 選手選考基準・勝ち上がりトーナメント等について

～ 賞金獲得額上位者162名が「ダービー王」目指して激突 ～

『東日本大震災被災地支援 第65回日本選手権競輪(GI)』 出場選手選抜基準

- ① S級S班在籍者。
- ② 日本選手権競輪に3回以上優勝した者(開催時S級1班に在籍)。
- ③ 第27回共同通信社杯秋本番(GII)の決勝競走において第1位から第3位となった者。
- ④ 選考期間(平成23年1月から11月まで)における賞金獲得額上位者から順次選抜

『特別選抜予選競走』 出場選手選抜基準

- ① S級S班在籍者。
- ② 選考期間における賞金獲得額上位者から順次選抜する。

数ある特別競輪等の中で最も古い歴史を持つ日本選手権競輪は、別名「競輪ダービー」とも呼ばれており、競輪界唯一かつ最長の6日制開催、出場選手数は競輪界最大の162名、優勝賞金もGP以外では最高額の6,400万円と、まさにビッグレース中のビッグレース。GI最高峰の開催と言われるゆえんです。出場選手は昨年1月から11月までの賞金獲得額上位者を中心に選考され、「特別選抜予選」の出場選手も賞金獲得額順に選抜されます。プロの証である「賞金額」で決定される、非常にわかりやすくシンプルな選考基準となっています。

他の開催とは一味違う! ダービーならではの「豆知識」を大公開!!

○開催中 選手にお休みの日がある!?

通常の3日制・4日制の開催では、選手は開催中毎日レースに出走します。しかしダービーでは、2日間にまたがる種目(特別選抜予選・一次予選・二次予選等)があるため、全ての選手が毎日出走するわけではありません。例えば第1日の特別選抜予選で1着の選手は、次に第4日のゴールデンレーサー賞に進出しますが、その間の第2日・第3日は不出走日となります。不出走日の選手は、ローラーで軽く練習を行うなどリラックスして過ごしながらも、ライバルのレースを見て走り方を研究するなど気持ちは次の対戦へとすでに向かっています。

○最終日まで走れない選手が63人もいる!?

ダービーの参加選手は162名です。一方で最終日は11レース分、99名の選手しか出走しません。実に63名もの選手が、最終日を迎えることなく競輪場を後にします。他のGI・GII開催でも最終日まで走れない選手がいる場合がありますが、63名もの選手を強制的に帰郷させる開催はダービーだけです。最終日まで生き残るためには、敗者戦でも少しでも上の着をひたすら目指すしかありません。決勝戦を目指す勝ち上がりも熱いですが、最終日まで出走するための過酷なサバイバルレースも、実は静かに熱い火花を散らしているのです。

○欠場があっても外部からの補充が一切ない!?

通常の開催であれば、落車等で参加選手が欠場した場合、外部から補充選手を充当します。しかしダービーの場合は、万が一多数の欠場があったとしても補充選手は一切充当しません。補充選手の代わりに、上記の「帰郷選手(63名)」が帰郷せずに出走すること等により、欠場を埋める形となります。これは「GI最高峰の開催であるダービーに出走できるのは、選考によって選抜された選手のみ」という思想を制度に反映したもので、現在この形式が取られる開催はダービーだけとなっています。



競輪界唯一の6日制勝ち上がりトーナメント! G1 最高峰の戦いをたっぷりとお楽しみください!!

